

続・学びの実感

かけ算のしかたを考えよう

◇1組を借りて事前授業に取り組み、今回の授業につなげた大泉先生です。事前授業では、類似問題を2問解く時間が作ることができたそうです。決して焦ることなく、大切なポイントを何度も何度も繰り返し確認するあたりはさすがですね。

◆事前検討会から…

※テープ図等は自力で。

- ・テープ図や数直線は子供たちに書かせる。3年生なりに書き方をマスターさせたい。

※ワークシート。

- ・子供の自由な思考を表現できるように罫線は入れない。
- ・友達の考えを写す際には、すべてではなく、自分が一番納得したものを写すようにさせる。

※『魔法の線』を意識させる。

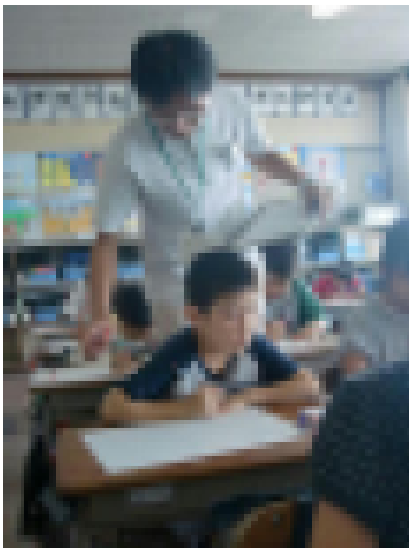
- ・十の位と一の位を分ける線を引く。アレイ型に線を入れ、分けて計算することを意識させる。

※本時間での指導を大切にする。

- ・本時は第3時だが、ここに至るまでにテープ図や数直線、言葉での説明のトレーニング(慣れる・書ける・使える)を積むことが大切になると思われる。

※全体発表の場。

- ・子供たちの考えを発表させながら、教師が黒板に板書する。その際に「分けて考えると計算しやすい」という考えを導き出せるようにする。



- ・自分たちの発表の中から、まとめの分を考え出せるように、ある程度教師が導く。

※いろいろな計算方法(答えの導き出し方)は考えさせない。

- ・教科書にある考え方3~4個が出ればよしとするが、出なくても教師が掲示物として準備はしておく。

※発表の仕方。

- ・「はじめに、次に、最後に…」発表の仕方を表示し、子供たちが意識できるようにする。

※悩んでいる児童へ。

- ・教室の後方に模擬貨幣を用意したテーブルを準備しておく。はじめから紹介するとみんな触りたがるので…困っている児童にだけ移動して考えるように声掛けをする。

◆事後検討会から…

《自評》

◎大泉先生…

- ・テープ図を書かせる際に、前時に何度か練習しこともあり、スムーズに書けていたと思う。書く回数を重ねていく中で身に付いてきたのではないかな。
- ・お助けコーナーを準備していたが、心配していた児童数名も自力で何とか解くことが



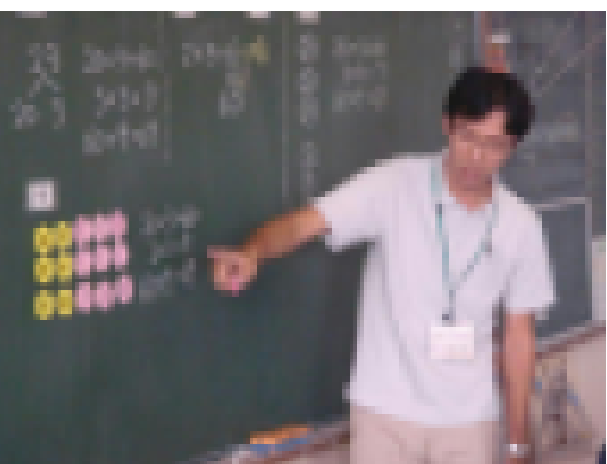
できていたと思う。

- ペア学習に入る前に、聞く側・話す側のポイントを説明してから取り組ませてみました。
- 投影機を使って説明させ、子供の考えを黒板に残せたことが良かった。
- 発表した内容の違い（考え方の違い）を意識させたかった。
- 「まとめ」を筆算につながるようによく繰り返してみました。
- 類似問題2問は、ほとんどの子供たちがあっという間に解いていた。暗算したのかどうか分かりませんが…。
- いつになくよく集中していたと思います。指示もよく通りました。



《参観者から》

- 問題提示がとてもスムーズだったと思います。
- テープ図を書くところにマス目があって良かった。テープ図をスムーズに書くきっかけになったと思います。
- 数字や式の表示の色を変えたことはとても良かったと思います。視覚的に分かりやすくなりましたよね。
- アナウンスでは、いろいろな考え方や数字に注目できるようにいろいろなパターンで示していたのが良かった。



- ペア学習の前に聞き方を事前に示したが、子供たちにうまく入っていかなかった。もっときちんと聞かせるべきだったと思う。
- 発表に集中しきれずに、それを聞きながらワークシートに板書を写していた児童が多かった。写すことに集中してしまい、後半は疲れてしまい反応が薄かったのかもしれないね。
- 何度も考え方を確認していたところはさすがですね。
- 「〇〇さんと〇〇さんとのちょっと違うところがあるよ」と言ったら子供たちが集中して考えた。教師の声掛けで子供たちが変わることを感じた。
- 子供の考え方をしっかりと残すことができていました。黒板の使い方がとても良かったと思います。

◆課題のリレー

(有効…○ 課題…●)

- 投影機を使っても子供の考えを残すことができる。
- ワークシートの作り方（どのように作業を進めれば良いか見て分かる）で子供たちの取り組みが変わる。
- 聞く時間なのか書く時間なのかはっきりさせ活動させること。

次回の研究授業は…

10月 9日(木) 3時間目 理科室にて実践授業 砂野恵子先生

できる範囲で話し合いや授業を参観しましょう。

低学年・中学年・高学年

成 果	
課 題	

育てたい力

--